

天桂傳尊
直筆艸稿
『正法眼藏辨注』翻刻(六)

河村孝道
小坂機融

坐禅箴 第四十八

藥山弘道大師坐次、有僧問、兀々地思量什麼、師曰、思量_レノ不思量底_一、僧曰、不思量底如何思量。師、非思量、大師_ノ道、如_レ是を證拠として兀坐を參學すべし。

兀々_ハ不動ノ兒、剛_レ足曰_レ兀。坐禅ノアリサマヲいふ。

兀々地ノ思量、ひとつにあらず_{トハ}、兀々タル禅坐ノ勤行、其品、マチ_{區々}ニ、四禅・八定・九次第・念処、無量ノ心等アリ。

藥山ノ道取、其_レ一ナリ。いわゆる思量箇即是不思量底ノ大事ニシテ、餘_二、三、四、五等ノ義ナシ。然モ兀坐ノ工夫ノ其中、思量ノ皮肉骨髓ヲ得ルモアリ、不思量ノ皮肉骨髓ヲ得ルモアリ。利鈍ニヨレバ_ク。兀々地ノ思量、ひとりニアラズトイヘ_レ、藥山ノ道_ハ、其_レ一ナリ、トアル本アリ。夫時モキコヘ_レ、藥山ノ道ハノハノ字、難通也。此僧云フ不思量如何ガ思量セント_ハ、マコトニ禅坐上不思量_ノハ、今マ始マレルニ非ズ、タトイ古クヨリ余_{カナリ}トイヘ_レ、更_ニ是_レ不思量底ナル処_ヲ如何ガ思量せる。タト(イ)イ、マタ兀々地ナリト云_レ、豈_ニ思量ナカラ_ンヤ。

其上、兀々地ノ向上、ナニニヨリテカ通ゼル。イニ、セザル、トアリ。賤近ノ愚ニアラズバ、此僧如ク、兀々地ヲ問着スル力量、人々アルベシ。兀々地ヲ思量スル_一モアルベシ。

大師曰、非思量。いわゆる非思量ヲ使用スル_一、尋常玲瓏トアキラカナリトイヘ_レ、不思量底ノ地ヲ思量スルニハ、必非思量ヲ用ル_レ。非思量ニたれあり。たれか我ヲ保任する_ト。此語、

難讀。心ハ、非思量ノ処ニ誰ありて、誰か我ヲ保任_一安_ンずる。

誰_レ我_レノ分辨_{ナキ}ノ処ナリ。然モ其兀々地非思量ノ処_ノ、タトイ我

ナリ_レ、我ナル_レハ、思量ノミにあらず、兀々地ヲ拳頭_シ拳ル

ナリ。シカアレ_レ、其思量即不思量ナリ。所以ニ云、

兀々地タトイ兀々地ナリ_レ、兀々地いかでか兀々地ヲ思量セ

んと。此詞モ難可量_レ。是ハ、たとへていわば、心タトイ心

ナリ_レ、心、いかでか心ヲ分別セント云フニ同ジ。

兀々地、タトイ兀々地ナリ_レ、兀々地、いかでか自ラ兀々地

ヲ思量セン。タトイ兀々地ノ思量ニもせよ、我ニもせよ、兀々地、

いかでか兀々地_ヲ自ラ思量セント。是_レ思量・非思量ナリト云_レヲ明_ス。故_ニ下ニ云、しかあれば即兀々地ハ仏量ニアラズ、

法量ニあらず、語量ニアラズ、會量ニあらざるなり。思量・不
思量、不思議ノ思量、仏眼も不見、魔外豈測哉。

藥山、かくのごとく單傳スル、コレ釈迦牟尼仏ヨリ三十六代く。
藥山ヨリ向上ヲタツヌルニ三十六代、上ニ釈迦牟尼仏イマシテ、
如是正傳シ玉フ。已ニ是レ思量箇不思議底く。故ニ、思
箇不思議底ニ讀デハ、古仏ノ意旨ニ違ゾ。已ニ上ニ、思量箇、こ
れ不思議底なり、トノ玉フゾ。子細ニ辨取セヨ。前後ヲ双照セ
ズシテハ、此即可難見。

しかあるに、近年、おろかナル杜撰曰、功夫坐禪ハ得胸襟
無事了、便是平穩地也。この見解、尚小乗の学者ニ及ズ、人
天乘ニ劣く。いかでか学仏法ノ沃ト云ン。

見太宋国に……なり、その榜様の宗旨ハ、作仏ヲ求メザル
行仏アリ、行仏さらに作仏ニあらざるが故ニ公案現成ナリトハ、
前ニ行仏ノ威儀ノ処ニテ能ク閑ルヘク。

身仏、更ニ作仏ニアラズ、哭籠打破スレバ、坐仏、更ニ作仏ヲサ
ヘズ。正當恁麼ノ時、千古、万古、元ヨリ仏ニ入り、魔ニ入ルノ力
アリ。進歩・退歩、親ク溝ニミチ、壑ニフサガル量アツテ、処
トノ不レ到ナク、無障無碍ナリ。此公案、古仏ノ講解、丁寧く。

兀々地思量什麼、師曰、思量箇不思議底。是ヲ古佛ノ講解ニ云、
思量箇これ不思議底也。箇ノ字ヲ上ヘ付テ、思量箇即是不思量
底ニ示シ玉フ。眼ヲツケヨ。如レ是、破句讀ノ禪ト云ゾ。

兀々地ハ且置ク、日用一千八百ノ分別思想、即是不思量底ナ

ルヲ參究セヨ。下ノ非思量ノ句、重於前箭。

今時一物相似ノ人師、不思議ト云ハ、痛痒瞋喜ヲモ不知、魂
不散有氣息ノ死人ノ様ニ思ヘリ、悲哉。其上、禪師ノ公案、無義
味、無理會ト云テ、義味・理會ノ外ニ、立ニ無理會・無義味ノ法
言語ヲ除テ無言舌ヲトリ、妄想ヲ去テ真智ヲトル、豈云宗門宗乘語
話ニ哉。永平古仏ノ示教ヲ未知不閑ノヘク。法元ト無定法、人豈
有定人、其実ヲ不知。故ニ但法ヲ擇デ人ヲ知ラズ。其一生、宗
門・宗乘ノ言句ニ於テハ、一言不能措。人天乘、爰(声聞)乘
ノ論談ノミ多シ。

江西大奔單(禪)師、因ニ南岳大惠單(禪)師ニ參学スルニ、
密受心印よりこのかた、つねニ坐禪ス。此密受心印ノ字ハ、写誤
カ。只參学スルヨリ常ニ座(ママ)禪ス、トアリテ好シ。

南岳アル時、往テ問、大徳、坐禪圖箇什麼、此問、しづか
に工夫參究すべし。其所以ハ、坐禪ヨリ向上ニ更ニアルベキ圖
あるか……工夫すべし。キコヘタ。

彫竜を愛スルヨリ、すすミテ真龍ヲ愛スベシトヘ。彫竜・真
竜トニ雲雨の能アルこと、學習スベシ。此語ニ稅ヲツケヨ。下
ハ、其意ヲ示シ玉フ。遠ヲトリ、近ヲステ、近ヲトリ、遠ヲスツ

ルヲナカレ。只遠キニモ近キモ、慣熟參究セヨ。ココデ遠ク近ク
トハ、ナンノヘゾ。彫竜ハ近ク見ルトコロ、坐禪ノ形儀ノ如シ。
真竜ハ遠ク未レ見トコロ、坐禪ノ向上ノ事ノゴトシ。耳目輕重ノ

語モ、是ニ同ジ。只耳目トニ、聰明ナラシメヨ。目ハ近キヲ云、

耳ハ遠ヲ云く。底意ハ、坐禪ヲ執スル、非ナリ。棄嫌スルモ、非ナリ。トカク是非凡ニ、取捨ハ未達道ナリ。

江西云、圖作仏。此道取、明達スベシ。作仏ト道取スルハ、イカニアルベキゾ。仏ニ作仏セラルルヲ、作仏トスルカ、仏ヲ作仏スルヲ、作仏トスルカ。仏ノ一面出・両面出スルヲ、作仏ト道取スルカ。仏ノ一面出・両面出トハ、たとへば、律家ニ、自誓戒ニ好相ヲ見ル、ナドニ同ジ。仏ノ目星ノゾ。

圖作仏ハ、元ヨリ脱落無生ニシテ、脱落無生ナル圖作仏カ。作仏ニタトイ万般ノ六度万行等ノ只ナアリトモ、コノ坐禪、作仏ノ圖ニ葛藤シモテ行クヲ、皆く圖作仏ト云カ。

可知、大舜ノ道取ハ、坐禪必圖作仏ナリ。坐禪必作仏ノ圖ナリ。圖ハ謀ナリ、圖ハ作仏ヨリ前ナルベシ、作仏ヨリ後ナルベシ。作仏ノ正當恁麼ノ時ナルベシトアルハ、不可ナリ。作仏ヨリ前ナルベカラズ、作仏ヨリ後ナルベカラズ、作仏ノ正當恁麼ノ時ナルベシトアリテ、決メ好シ。照察セヨ。

且問スラクハ、コノ作仏ノ一圖、允許ノ作仏ヲ葛藤ストカセン。此作仏ノ葛藤、更ニ葛藤ヲマツウベシ。作仏ノ一圖ヲ廻避スベカヘラズ。一圖ヲ回避スル時ハ、喪身失命ス。喪身失命スル時、一圖ノ葛藤ナリト。此処ノ句、難レ弁。

南岳、時ニ一博ヲトリテ、石上ニアテ、磨グ。大舜問云、師作什麼。マコトニ誰カコレヲ磨博ト不レ見、誰カ是ヲ磨博ト見ントハ、磨博ト見テ、シカモ磨博ノ實ト見ルモノナシ、ノ意ゾ。しか

あれども、磨博如レ是して作什麼ト問來レル。此土他土、座禪ノ磨博、休マザル宗旨アルベシ。ソレハ、坐禪ノ上、自己ノ所見ヲ自己ノ所見ト決定スルノミニ非ズ、万般ノ作業、行往坐臥ノ上ニ參學スベキ宗旨アルコトヲ、一定スル。是ヲ、磨博ノ休ザル宗旨ト云フ。ナニトシテ如是ナレバ、可レ知、仏ヲ見ルニ、實ニ仏ヲ不レ知、不レ會ゴトク、水ヲ見ヲモ不レ知、山ヲ見ルヲモ不レ知、多シ。此等ノ類ハ、眼前ノ法、鼻ノ先ノゾ、別ニ更ニ通路アルベカラズ、ト打チヤリテ倉卒ナルハ、仏學ニ非ルナリ。

南岳云、磨作鏡。この道旨、明カニ明ラムベシ。磨ノ作レ鏡道理、必アリ。見成の公案也、虚設ナルベカラズ。博ハタトイ博ナリ凡、鏡ハタトイ鏡ナリ凡、磨ノ道理ヲ力究スルニ、許多ノ榜樣アルヲ可レ知ト。此言句、光前絶後底ノ妙語。博ニモアレ、銅ニモアレ、山河大地ニモアレ、木杪漆桶ニモアレ、磨ノ道理ヲ參究スル、ソクバクノ榜樣アルゾ、イカン。ナンド此様ノ言句、上古諸祖ニモ言フ少シ。况ヤ近代ノ文字ノ儒僧ナド、夢ニモ不レ見ナリ。欽テ熟讀メ、磨ノ道理ヲ參究セヨ。

古鏡モ明鏡モ、磨博ヨリ作鏡ヲ得ルナルベシ。此語金言、卷テ懷セヨ。口拍子ノ面白イ文字、粉飾ノ千万句、只此一句ニ不レ敵ゾ。志ナキ禿法師凡ハ、好悪ヲ可レ不レ識者也。

若諸鏡ハ、磨博ヨリ來ルト不レ知、祖師ノゴトキ道得ナシ。仏祖ノゴトキ、開口ナシ。仏祖ノ出氣ヲ見閉セズ。誠哉此言也。此ノ磨ノ道理、老僧一言云フ則バ、閉ユレ凡、諸人ノ為メニ云ヌ

ゾ。着精彩參尽セヨ。

大舜云、磨博豈得成鏡邪。マコトニ磨博鉄漢ナル、他ノ力量ヲカラザレト、磨博ハ鏡ニあらず、成鏡タトイ響ナリト、スミヤカナルベカラズト。磨博人、是非ノ穴ノナイ鉄團ノ如キ丈夫ノ底、他ノ力量ヲカラズ、自ラ博ヲ磨磨スルト、鏡トハナルベカラズ。タトイ成鏡響ト云ト、速カナルベカラズ。三生六十劫ナラント。馬祖、イマダ不レ得ニ深旨。本文ニ、すみヤカナルベシ、トアルハ、不可。すへミヤカナルベカラズ。ナケレバ、閑へヌ。照看セヨ。此馬祖云分ニテハ、前ニ、密受心印、トアルハ、不可。傳灯・会元ニモナシ。

南岳云、坐禪豈得作仏耶。あきらカニ知りヌ、坐禪ノ、作仏ヲマツニあらざる道理あり。作仏ノ、坐禪ニ拘レザル宗旨カクレズ、ト。今時人師トガ、一寸ノ坐禪、一寸ノ仏、ト云。此ノ古仏ノ語ラキ、テ、耻ヲ可レ知。纔ニ坐禪ノ坐禪タルヲ不知。或ハ只管打坐、身心脱落、ト大音声ヲ挙ゲ、目口ヲハタケテ、学人ニ教ユル。坐禪ハ南岳、元古仏ノ坐禪トハ相違ナルゾ。身心脱落、ノ語ヲトリソコナフテ、身心ヲ打チ碎キ、粉骨碎身スル様ニ覺タリ。老僧モ弱カツ。(リカ)シ時ノ坐禪、ソノ通ニ思イキ。粉骨碎身不足酬ノ句、古來ヨリ錯解スルヲ、此前ニ辨ジ云ゴトシ。サテ、磨博作鏡ノハ、古鏡ノ篇ニモ云、磨博作鏡、古仏ノ骨髓に住持セラレ來ル。磨博ハ、博ノチリアルニハ非ズ、博ナルヲ磨博スル。此所ニ作鏡ノ功德ノ現成スル、即仏祖ノ功夫

ナリ。磨博、モシ作鏡セズンバ、磨鏡も作鏡すべからざる。今ノ人モ、今ノ博ヲ磨ノ試ルベシ、定テ鏡トナラン。博、モシ鏡トナラズバ、人、仏ケニナルベカラズ。誰カ知シ、博來博現ノ鏡子アルヲ。誰知シ、鏡來鏡現ノ博子アルヲ、トアルゾ。

大舜云、如何即是。いまノ道取、偏ニ這頭ノ問着ニ相似セリトイエト、那頭ノ即是ヲモ問ナリ、トハ、只今ノ坐禪ニテ作仏セズンバ、イカンシテ是ナラント。只今這邊ノ問着バカリノ様ニアレト、那邊向上ノ即是ヲモ問着スルナリ。たとへば、親友……(编者注「の親友に相見する時節をしるべし、われに親友なるは、かれに」ノ文ヲ略ス。親友也。師資親切ノ故。如何即是ハ、スナハチ一時ノ出現ナリト。ナニノ出現ニテカアラシ。此詞、簡孤ニシテ難見、強為要タルノ語ニ非ズ。

南岳云、如人駕車、車若不行、打車即是、打牛即是、大舜無對。且ク車若不行ト云ハ、イカナランカ是車行、如何ナランカコレ車不行。たとへば、水流ハ車行ナルカ、水ノ不流ハ車行ナルカ。水不流ハ車ノ不行ナルカ、トアルベキヲ、車ノ字下ニ、不ノ字、脱ス。故ニ、義理難レ下。心ハ、車ヲ水ニタトへバ、水流ルルガ如ク、動クヲ車行ト云フカ。水ノ不レ流如ク動カザルヲ、車ノ不行ト云カ。流レ動クハ、水ノ行ト云ツベシ。然ト、水行ニハ、不レ流アルベキ。流ハ水ノ不行、トアル、非ナリ。不行ノ字、衍ナリ。車モ、動クヲ行トバカリモ云マジ。不レ動車

ノ行クト云ベキヲモアリナン。然アレバ、車若不行ノ道取ヲ
參究センニハ、不_レ動、不_レ行アリ_ニ參_{ベシ}、不行ナシ_ニ可_レ
參。行_ト不行_ト時ナルガ故_ニ、車若不行ノ道取、ヒトヘ_ニ不行_ト
ノミ道取セるにアラズ。

打車即是、打牛即是といふ。打車モ打牛モアルベキカ。打
車・打牛ニヒトシカルベキカ、ヒトシカラザルカ。世間ニ打
車ノ法ナシ、凡夫ニ打車ノ法ナク_ニ、仏道に打車ノ法アル_ヲ
知ヌ、參学ノ眼目ナリト。此語_モ亦、古今希有ノ示教ナリ。
然_ニ知ル人ナシ。牛ハ、心牛ノ比喩也。

打車ノ法トハ、行往坐臥、七顛八倒、露柱ニ擔突シ、灯笼ニ搯着
ス。困則打睡シ、健則經行ス。是仏法打車ノ法、參学ノ眼目也。
非其人則不可云。然_ニ、慈悲ノ為_ニ大槩ヲ云。打牛ノ車ヲ走シ
ムルハ、譬如磨銅作鏡、仏事門中ノ修證、精進打車ノ車ヲ走シ
ムルハ、自家屋裡実參ノ巴鼻ナリ。雖如是道尚不可徹底、須
審細工夫也。

たとい打車ノ法あることを学ス_ニ、打牛ト一等ナルベカラズ。
打牛ノ法、タトイ尋常ニ牧牛ノ方便アリ_ニ、仏道ノ打牛ハ、更ニ尋
常ニ參学すべし。水牯牛ヲ打牛スルカ……〔編者注〕「鉄牛を打
牛するか、泥牛を打牛するか、鞭打なるべきか、尽界打なる
べきか、尽心打なるべきか、打逆髓なるべきか、拳頭打なる
べきか、拳打拳あるべし、牛打牛」ノ文ヲ略ス。アルベ
シ。キコヘタ、皆祖門下堂奥ノ事也。

大舜ノ無對、尋常ニ同ジカラザルベシ。
南岳又示_レ云、汝為学坐禪為学坐仏。此道取ヲ參究して、當_ニ
祖宗ノ要柁ヲ辨取スベシ。此坐禪、坐仏ヲ学_フト云学ノ字、心_ヲ
付_テ見ヨ。無学ノ真学ノ一_ツゾ。

いわゆる学坐仏ノ端的ハ、いかなりと不_レ知_ニ、学坐仏と知リヌ。
正嫡ノ兒孫ニあらずよりハ、いかでか学坐禪の、学坐仏ナルト
道取セン。發_キ初_ニ心、最初ノ坐禪ハ初心最初ノ坐仏ナリ。坐
禪・坐仏ノ一_ツ、下ニテ具_ク。

南岳云、若岳坐禪、禪ハ非坐臥。今所_レ云、坐禪ハ坐禪ナリ、
坐臥・非坐臥ニあらずト單傳スルヨリ已來、無限ノ坐臥ハ自己_ノ
活計ナリ、何_ヲ為_シ親疎ノ命脈ヲ尋_キ、いかでか迷悟ヲ論ゼン、誰
カマタ智斷ヲ求_フ。

南岳云、若学坐仏、仏非定相。いわゆる道取ヲ道取センニハ、
恁麼、カクノ如ク云ベシ。坐仏ノ一仏ニ仏ノ如クナルハ、非
定相ヲ莊嚴とセルニヨリテナリ。今仏非定相と道取スルハ、
仏相ヲ道取スルナリトハ、坐仏ノ一仏・二仏トハ、学坐禪ノ人ヲ指_シ
云、一二二百千人_ニ、非定相ヲ莊嚴トセリ。ナンゾ今日ノ規矩_ニ
坐定スル屈相ノ木杓ヒヲ守リ、況ヤ三十二相、八十種ノ莊嚴ヲ
要_ス。以_テ色_ヲ以_テ音声_ヲスルハ、行_ハ邪道ナリ。非定相トハ、今時
鬼窟ノ兀坐ヲ、向上本分ノ事トヲモヘル者ノ不_レ通トコロナリ。
非定相トハ、坐相ヲ執スルニアラヌ。祖師家ノ仏ハ、皆非定相_{ナリ}。
或ハ、文殊三処ニ安居_シ脚下線_ヲナシ。

披毛戴角、綠楊芳草岸、何処不称尊、信步入荒草、忘却長安路、但念水草牽犁拽_レ杷、袈裟包草鞋、赤脚_ニ下桐城_一、朝出姪舍、暮入酒店、尽是非定相_ニ相_一。如是非定相_ニ相_一ナル故_ニ、坐_レ仏、更_ニ回避_{スル}ノ地ナシ。しかあれば、仏非定相_ニ相_一ナル故_ニ、若学坐_レ禅則坐_レ仏ナリ。坐_レ禅ヲ忌_ニハアラズ。坐_レ禅ハ坐_レ禅ナリ。今時ノ様子_ニハアラザルナリ。是故、誰無住法_ニヲイテ_レ仏_ニ非ズト取捨シ、仏ナリト取捨セン。ココニ於テハ、取捨、先_{ヨリ}脱落セル_ニ依テ、坐スレバ即_レ仏ナルナリ。

南岳云、汝若坐_レ仏即是殺_レ仏。いわゆる坐_レ仏ヲ參究スル_ニ、殺_レ仏ノ工夫アリ。坐_レ仏ノ正當恁_レ麼ノ時ハ、殺_レ仏ナリト。心ハ、坐_レ仏ノ正當恁_レ麼ノ処_ニ即_レ殺_レ仏ノ道理現成スル_レ。元_{ヨリ}仏相_ヲ執セザレバナリ。

殺_レ仏ノ相好光明ハ、尋ントスル_ニ、必坐_レ仏ノ上_ニアルベシ。坐_レ仏ノ、殺_レ仏ノ相好光明ハ、イカナル形段_カ。禅坐、正當大底ハ大、小底ハ小。長者長、短者短、然バ仏功德、スデニ殺_レ仏アルヲ拈拳_ソ、人々我等ガ殺人_・未殺人ヲモ參学スベシ。

殺人_ノ一_ハ、宗竟录二十八_{卅四}。殺人者取_レ二死已断_ニ三道_ニ清淨_一一名殺人_一。又法花玄義六之_二卅五_一。大經、破_レ無明_ニ位_ヲ方名殺人_一。

南岳云、若執坐相非達其理。いわゆる執坐相_{トハ}、坐相_ヲ(坐相_ヲ)捨シ、坐相_ヲ觸スルナリ。此道理ハ、已_ニ坐_レ禅スル_ニ、多_{クハ}、不執坐相ナル_一エズ。故_ニ、執坐相_ハ、タトイ玲瓏、

アキラカニ兀坐_ソ、頭_ニ鳥ノ巢クフ_一アルモ、非達其理_ニ。上件、恁_レ麼ノ功夫_ヲ脱落ノ身心_ト云。是以可知、脱落_{トハ}、身心_ヲ打碎スル_一ニハアラズ。

ただ人ノ坐臥スル坐_レ、此ノ打坐_レ仏_{ナル}ニアラズトハ、今時ノ坐_レ禅僧_ノ為_レ躰_ハ、打坐_レ仏_ニハアラズ。謂_ヘラク、打坐_レ鬼_{ナリ}、打坐_レ盲人_{ナリ}。タトヒ今時ノ坐_レ禅僧_ノ坐相、自_ラ坐_レ仏、仏坐_レ相似_ノ歴々ナルモ、人作_レ仏_{アリ}、作_レ仏_人アルガゴトク、実_ニ仏_ニハアラヌナリ。故_ニ、作_レ仏_人アリトイヘドモ、一切_ノ人_ハ、作_レ仏_ニ非ズ。仏_ハ、一切_ノ人_ニ非ズ、一切_ノ仏_ハ、一切_ノ人_ニアラザル故_ニ、人、必_ズ仏_ニ非ズ、仏、必_ズ人_ニアラズ。似_テ齊カラヌモノ、坐_レ仏_ノ、坐_レ仏_{ニアラザル}モ如是。只其形段_ヲ以テ、云ベカラザルナリ。

〱『坐禅箴』卷了〱

家常

ヲホヨソ仏祖屋裡ニハ、茶飯是家常ナリトハ、此仏祖モ前々云如ク、人々仏祖ト見ルベシ。然ル故ニ此茶飯、人々アツテヨリ已來、久ク傳レテ而今ノ現成ナリ。人々、日用茶飯ノ外ナシ。趙州ノ所謂、粥飯ノ外カニ雜用心ナシト云、是ナリ。是故ニ、仏祖茶飯ノ活計來レリト、下ノ公案ヲ喚ビ出シ玉ク。

太陽山楷……ミナ可書。

シカアレバ、明カニ保任スベシ。仏祖ノ意句ハ、仏祖家常ノ茶飯ナリ。外カ談玄談妙ナシ。家常ノ麤茶淡飯、コレ仏祖ノ意句ナリ。仏祖、日用茶飯ヲ造作セリ。茶飯、仏祖ヲ保任セシムルナリ。心ハ、仏祖ノ上堂・小參・示衆・說法、是家常ノ茶飯、正命食ナリ。然モ、仏祖ヲ外ニ見ルベカラズ。你諸人は仏祖ナルヲ知レ。シカアレバ、此外ノ茶飯力カラズ。此中チン仏祖力ヲツイヤササルノミナリト。此ニ、写誤アリ。シカアレバ、シカレバ、ナルベシ。ツイヤササルノミナリハ、吳本ニ、ツイヤサル、ノミナリ、トアリ。最モ好シ。

還假堯舜禹湯也無ノ見示ヲ、參學スベキナリ。離此之餘、還有為人言句也無。此ノ問頭ノ頂顛ヲ參跳スベシ。他ヨリ可得無キヲ了スル知見ヲ云。跳ハ、沃書ノ注ニ、独出ノ境也。你諸人跳得ナリヤ、跳不得ナリヤ、ト試ミ參看スベシ。

南岳石頭無際大師曰、吾結草庵無寶貝、飯了從容圖睡快。

道來道去、道來去スル飯了ハ、參飽仏祖ノ意句ク。心ハ、來ヲ道取シ、去ヲ道取シ、來去ヲ一ニ道取スル等ハ、皆ナ參飽仏祖ノ意句ナリ。モシ未飯ナルハ、未飽參ナリ。飽了ハ、參飽仏祖ノ意句ヲ、

イ本ニ、參飽仏祖、トアルハ、不可ナリ。

シカアルニ、此ノ飯了從容ノ道理ハ、飯先ニモ現成ス、飯中ニモ現成ス、飯後ニモ現成ス。其人ニヨルク。飯了ノ屋裡ニ、ナヲ喫飯アリ、ト錯認スル、四五升ノ參學ナリトハ、飯了ノ、ナヲ向上ニ喫飯アリト錯認スル四、五枚ノ參學アリ。四、五升ハ、四、五枚ノギニ見ヨ。

先師古仏……喫飯。ミナ、カケ。

仏祖ノ屋裡ニ必有奇特事。イハユル獨坐大雄峯ナリ、獨臥大雄峯ナリ、更伴侶ナシ。今マ古仏、坐ニ殺者沃一セシムルニ逢トイヘバ、獨坐大雄峯、猶是奇特事也。更ニ彼レヨリモ奇特ナルアリ、イワユル淨慈鉢盂移過天童喫飯ナリ。本文ヲ、有ニ甚奇特事、トヨムハ、アシシ。有ニ甚奇特事、ヨソデ、ヨシ。甚ハ深也。又、大過也ノ訓ヲ用ヨ。

奇特ノ事ハ、條々面々、皆喫飯也トハ、楞伽八上云、如是世界十ニ類生、不能自全、依ニ四食ニ住、所謂段食・觸食・思食・識食ナリ、是故ニ、仏說一切衆生皆依食住、楞伽具ク。然バ、行住坐臥、日用光中ノ造次云、為、根・境・識、皆ナ、食スル処アツテ、飯食ナラザルモノナシ。シカアレバ、獨坐大雄峯モ、獨臥大雄峯モ、是喫飯ノ事也。鉢盂ハ、喫飯ノ用ナリ。喫飯用ハ、

鉢孟ナリ。是故ニ、淨慈鉢孟、天童喫飯ナリ。喫飯ノ時キ、作麼生飯了ノ知レ飯アリ。喫飯了レ飽アリ、知了飽飯アリ。飽了更ニ向上ノ喫飯アリ。且ク作麼生ナランカコレ鉢孟。ヲモワクハ、祇是木頭ニアラズ、黒如漆ニアラズ。頑石ナランヤ、鉄沃ナランヤ。只是無底ナリ、無鼻孔ナリ。シカモ一口ニ吞却^{スレバ}虚空^ヲ、虚空合掌受、是則仏祖ノ妙鉢ナリ。諸人者、能受用セヨ。

先師古仏、因台州瑞岩淨土禪院ノ方丈ニシテ示衆スルニ曰、飢來喫飯、困來打眠、炉鞴互天、莫^{シヤ}有^テ透^下鉗鎚^ニ底^上麼、咄、倒退三千。

イワユル飢來ハ、喫飯來ノ人ノ活計ナリ。未曾喫飯ノ人ハ、飢不得ナリトハ、飢來^{レバ}飯ヲ喫セン^ヲ要ス。元ト喫飯セヌ人ニハナキコトク。一度發^{ホツ}無上^ノ正命食^ヲ喫セシ、我本行ノ并道アル、是飢^ハ人トク。故ニ、下文ニ未曾喫飯ノ人ハ、飢不得ナリトノ玉フ。タトヘバ、孩兒ノ飯食ノ念ナキガ如シ。祖門中、參禪ノ心、是飢^{ヘテ}飯^ヲ念^ガ如クアルベキ。今時、飢^ハ人ナキヤイカンセン。

シカアレバ可知、飢^モ一家常ナラン。直下ニ、我^ハ飯了ノ人ナリト決定スベシ。困來ハ、困中又困ナルベシ。此ノナニ、カ困ズルヤ。困ズル^ヲナケレバ、打眠スベカラズ。故ニ、困ノ頂顛上ヨリ全跳シ來レリ。

二祖断臂、是困中又困ナリ。シカアラザレバ、不可得安心ノ打

眠ハナラヌ^ヲ、其餘一切ノ諸仏諸祖、イツレカ困ジ來テ後、打眠セザルアリヤ。試^ミニ辨看セヨ。我^ハ、飯了ノ人ナリト決定スベシ、トアル。聴^キ処ゾ。イツマデモ、飢饉スベカラズ。直ニ飽人ナル^ヲ知レ。故ニ、夾山ノ云、三年モ不^レ食^レ飯、目前無饑人ト云レタ、此事也。或又、飢^ハ不^レ飽、或又、飢^テ不^レ飢アリ。又或終日喫飯、未曾喫着一粒米^ニアリ。抑今時、祖門ノ師学ハ、^凡不^レ飢^不饑云、是則増上慢ナリ。

困ノ頂顛上ヨリ全跳シ來ル則バ、日用人々渾身ノ活計ニ都テ撥^ニ轉渾身^ヲセラル、唯而今ナリ。這^ノ時節ト云モ、是ナリ。

打眠ハ、仏眼・法眼・惠眼・祖眼、露柱灯笼眼^ヲ假借シテ、打眠スルナリ。古仏ノ道取ナリト云ヘ^凡、仏祖法惠、露柱灯笼ノ目^ヲ借^テ眠^シハ、六ヶ敷ナラザルベケンヤ、イカン、^ノ。

先師古仏、因台州瑞岩寺^{ヨリ}臨安府淨慈寺^ノ請^ニヲモムキテ、退院ノ上堂ニ曰、半年喫飯坐鞦峯、鎖断烟雲千万重、忽地一声裏霹靂、帝郷春色杏花紅。

代^ニ仏化儀^ニ、仏祖、其化、皆是坐鞦峯喫飯ナリ。續^ニ仏惠命^ノ參究、コレ喫飯ノ活計現成ナリ。坐鞦峯ノ半年、コレヲ喫飯ト云。坐断スル烟雲、^凡重^サナリト云^ヲ知ラズ。瑞岩寺住山ノ為体ナリ。又、有时忽地^ニ霹靂一声裏^ガ如クノ動容ノ活計アリトイヘ^凡、帝郷ノ春色ハ、杏花紅ナルノミ。動容^ニ古路^ヲ揚ルナルベシ。帝郷ト云ハ、赤^キ條^ニタル無物ノ境^ヲ云ゾ。コレラノ喫飯、仏祖ノ家常ナリ。

先師大仏、因^ニ明州慶元府瑞岩寺ノ仏殿ニシテ示衆スルニ云、黄金妙相、著衣喫飯、因^レ我礼你、早眠晏起、咦、談玄談妙太無端、切忌拈花自熱瞞。

上件ノ道取ヲ、忽^ニ透擔來スベシ。透ハ、通也。両肩^ニ通荷スルヲ云。黄金妙相ト云ハ、着衣喫飯ナリ。着衣喫飯ハ、黄金ノ妙相ナリ。更^ニ誰^レ人ノ着衣喫飯スルト摸索セザレ。誰人ノ黄金ノ妙相ナルト云^フナカレ。各々自身ナル^ヲ返照セヨ。如^レ是スル則^ハ、這^レ是道着^ニテアルナリ。是^レハ、因^レ我礼你ノシカアル^ク。因^レ我礼你ハ、続傳灯一^ニ、蒙菴元禪師上堂曰、拳玄沙見^ニ僧礼拜^ニ云、因^レ我得^レ礼^レ你、師頌曰、因^レ我得^レ礼^レ你、莫^レ放^レ屁撒^レ屎、帶^ニ累^テ天下^ノ人^一、錯認^ニ自家^ノ底^一。此ノ玄沙ノ意旨ハ、拜^レ我^ヲスル却^テ而^テ你^ヲ礼^スルナリ。何故^ゾ。箇々別人ナキヲ以^テテ^ク。コ、ニ用^テ玉^ヲ意^モ、黄金妙相ヲ拜^スル、因^レ我礼^レ你ナリ。礼^レ你則^チ礼^レ我ナリ。故云、誰^レ人ノ妙相、誰^レ人ノ喫飯ト云^フナカレト。

我既喫你揖スル、家常ノ喫飯ナリ。故^ニ、切忌拈花是^レ熱瞞ノ作ナリト云^フ。故^ニ余^ノカナリ。

我既喫飯^ノ一^ハ、傳灯十四龍潭崇信ノ傳^ニ、天皇悟曰、汝擎茶來、吾為你接、汝行^レ飯來、吾為你受、汝和南^ス時、吾便低首、何処不^レ指^ニ示^ニ心要^一、師低頭良久。悟曰、見^レ則直^ニ下^ニ看、擬^レ思^ニ即^ニ差。師、當下開解^ト。此ノ事ナラン。次下、瀉山公案、キコヘタ。三十年來喫飯ノ外、更^ニ雜用心ナ

キハ、前^ニ明^ス如^ク、趙州ノ語ナリ。標格ハ、標準ノゴトシ。

趙州真際大師、問新到……喫茶去。ミナカクベシ。

イワユル此間ハ、頂顛ニアラズ、鼻孔ニアラズ、趙州ノ此間^ニモアラズ。此間ヲ跳脱スルユヘニトハ、其所住^ヲ跳脱。故^ニ只是到处、此間ナリ。故^ニ、曾到ナリ。不曾到ナリ。窠窟スベカラズ。這裡是甚麼处在^ゾ。祇管曾到・不曾到ト云ナランヤ。是故、吾先師曰、誰在昼樓沽酒処、相邀來喫趙州茶。多^クハ、昼樓・沽酒ノ地ニアツテ、趙州ノ茶ヲ喫スル底ハナキノミ。可悲哉。是^レ世俗ノ沽酒ノ昼樓ニアラズ。僧家名閉利養ノ無明ノ酒^ニ醅^ニ醉^スル底^ヲ云^ク。

へ『家常』卷了

眼 睛

億千万劫我本行苴道、參学ヲ拈來シテ、團圓トマドカナラシムルハ、八万四千ノ眼睛ナリ。楞伽・法花ニハ、八百眼ノ功德ヲ明ス。今コヽニ、八万四千眼睛ナリトハ、イカン。心上一無明ノ轉變、八万四千ノ筈ト波罽蜜ト、一合不可得ノ眼睛ナリ。是以億千万劫ノ本行道ヲ團圓ナラシムル、是則、祖門宗乘ノ正法眼也。故、下ニ、天童古仏ノ公案ヲ引キ玉フ。

先師天童古仏、住瑞岩時上堂示衆云、秋風清秋月明、大地山河露眼睛、瑞岩点睛重相見、棒喝交馳驗納僧。

今納僧ヲ驗スト云ハ、古仏ナリヤ、ト驗スル。其驗スル要秘ハ、棒喝ヲ交馳セシムルナリ。是ヲ以点睛トス。恁麼ノ点睛ノ現成活計ハ、コノ睛眼睛ナリ。睛驢辺ニ滅却ノ眼睛ト云。山河大地、是レ眼睛露ニシテ、シカモ朕兆打セズ。蹤由ヲ不レ成也。不打ハ、成サズト云ギ。故ニ、朕兆ハ、吉凶形兆謂ニ之兆朕、又幾微萌兆謂ニ之朕、字訓シテ、一切兪事、ワズカニキザス、アラワル、処ヲ云ゾ。此朕兆不打ニシテ、蹤由ナキ処ハ、秋風清ナリ、一老ナリ、秋月明ナリ、一不老ナリ。一老・一不老ハ、洞山和尚、無心合道ノ頌句。道無心合レ人、人無心合レ道、欲識箇中意、一老一不老ト、誰レカ一老ナル、誰カ一不老ナル。老ト不老ト、一カニカト參究スベシ。秋風秋月朕兆不打底ト、同カ別カ。是睛驢眼ニアラズシテ見ルベカラズ。是ヲ、

夜半正明、天曉不露、ト云々。秋風清キ四大海モ、比スベカラズ、秋月明ナル、千ノ日月ヨリモ、明ク。

清明ハ、此睛眼睛ナル山河大地。納僧ヲ驗スルノ納僧ハ、仏祖也。大悟底ヲエラミ云ニアラズ、不悟底ヲ云ニアラズ。朕兆前後ヲエラバズ。眼睛ナルハ、仏祖ナリ。驗ハ、眼睛露ナリ、睛現成ナリ、活眼睛也。相見ハ、相逢ナリ。什麼人ニカ相見スヤ。相逢相見ハ、眼頭尖ナリ。尖ハ銳也、目ニ角アル、伶俐ヲ云ク。眼睛露露ナリ。露露ハ、雷之急疾者ト字訓アリ。上ノ意ニ同ジ。又辟歷ト同ジ。沃書ノ天文志ニ云、辟歷夜明ナリト。ヲホヨソ、渾身ハ大キニ、渾眼ハ小サカルベシトヲモフナカレ。往ト、老々大々ナリト見ユルモ、渾身大ナリ、渾眼小ナリト解会セリ。是未具眼睛ノ故ナリ。尽大地ノ隻眼ヲダモ不レ知ナリ。

洞山悟本大師……咄之。ミナ可書

シカアレバズナワチ、全彰ノ參学ハ、乞眼睛ナリ。雲堂ニ辨道シ、法堂ニ上參シ、寢堂ニ入室スル乞眼睛。凡隨衆參去、隨衆來、ヲノレヅカララノ全眼睛ナリ。シカモ眼睛ハ、自己ニアラズ、他己ニアラザル道理、明カナリ。イワク、洞山、スデニ就師乞眼睛ノ請益アリ。計知ヌ、自己ナランハ、人ニ乞請セラルベカラズ。他己ナランハ、人ニ乞請スベカラズ。自己・他己ニアラヌ道理ナリト、前ニアル、是ク。シカレバ、コヽノ、自己ナランハ、他己ナランハトアル、假名ヅカイアシ、自己ナラヌハ、他己ナラヌハトアリテ好シ。心ハ、自己

ニアラヌモノナレバ、人ニ乞請モセラルベカラズ、他己ニアラヌモノナレバ、人ニ乞請モスベカラズト云フギナリ。

汝底与阿誰去也ト指示アル汝底ノ時節アリ。汝底時節ト云ハ、ナンノ時節ノゾ。人ニ眼睛活開ノ這箇ノ時節ナリ。ソノ汝底ノ眼睛ハ、与レ誰タルゾト云ノ処分アリ。処分ハ、通監ノ注ニ、區処ヲ曰処、分別曰分。統紀四十一ノ注ニ、処分ハ、分ハ音問、処置得レ処トアル。心ハ、汝ガ眼睛ノ置キ処ハ、誰ニ与ヘ置キタルゾトク。

某甲無、是レ眼睛ノ自道取ナリト。心ハ、目ニ筋アルノ髑髏裡ノ眼睛ニハアラズ。瞎眼睛ノ自道取ク。如是ノ道取現成、シヅカニ究理參學スベシ。

雲岩曰、設有汝向什麼処著シ。此ノ道眼睛ハ、某甲無ノ如ク無ナラバ、設イ我ニ乞請ノ眼睛アリト、向什麼処著ナリ。若又什麼処ニ向テナリト、著クルアラバ、有ト云モノニシテ、無ト云コトハナイト云フ。其怎麼道取ナリト參究スベシ。コトノ外、不レ易レ見ノ語ナリ。今一点ニハ、設シ無ト云処ノ無ナルモノ有ラバ、汝向什麼処著シ。什麼処ニ向テナリト、著クルナラバ有ナリ、無シト云ニハアラヌト、怎麼道取ナリトナリ。前説、好シ。此説ハ、穿鑿ナリ。

洞山無語、是茫然不了ノ茫然ニハアラズ。是則業識獨豎ノ標的ナリ。末ノ三十七品ノ中ノ四神足ノ内ノ思惟神足処ニ、古仏ノ玉フ、一切佛祖、業識茫茫、無本可拠ナリトアルヲ以テ見ヨ。

雲岩、為示スルニ曰、乞眼睛底、是眼ナリヤ否、是則先師古仏ノ點瞎眼睛ノ節目ナリ。又活碎眼睛ナリト、碎ノ字、活ノ字ノ上ニアリテ、碎活眼睛ニテ好シ。点瞎ノギゾ。イワユル雲岩道取ノ宗旨ハ、眼乞眼ナリ。水引水ナリ、山連山ナリ、異類中行、同類中生ク。コ、ニモ、眼睛乞眼睛ノ下ノ二ツノ睛ノ字、衍ナリ。異類中行ナリ、ナリ、ノステガナ、衍ナリ。下、同類中生ナリ、ニテ好シ。洞山曰非眼睛、コレモ、睛ノ字、衍ナリ。是眼睛ノ自拳唱ナリ。前、是眼睛ノ、自道取ナリ、ト云ニ一般ナリ。

非眼睛ノ身心慮知形段アラントコロラバ、自拳ノ活眼睛ナリト相見スベキナリ。心ハ、日用光中、身心ノ慮知形段アル処ニ、棄嫌セズ。自拳底ノ活眼睛ト相見セヨ、トク。是モ非眼睛ノ身心等トアル。瞎ノ字、衍ナリ。

三世ノ諸仏ハ、眼睛ノ轉大法輪、説大法輪ヲ立地ニ聽シ來レリ。人々畢竟シテ參究スル堂奥ニハ、眼睛裡ニ跳入シテ、發心・修行、證大菩スルナリ。此眼睛ハ、元ヨリ已來、自己ニアラズ、他己ニアラズ。モロクノ窒碍ナキガ故ニ、如是大事モ窒碍アラザル。大事トハ、發心・修行、證大菩ノ大事ノコトク。是故ニ、瑯琊覺曰、奇哉十方仏、元是眼中花。所謂十方仏ハ、眼睛ナリ。眼中ノ花ハ、十方仏ナリ。今ノ日用ノ進歩・退歩スル打坐・打睡スル、シカシナガラ眼睛、ヲノツカラノ力ヲ承嗣シテ、怎麼ナリ。スベテ眼睛裏ノ把定・放行ナリ。

先師古仏曰、袂^{ケツ}出達磨眼睛、作泥彈子打人。高声曰、著、海枯徹^{スス}通底^ス、波浪拍天高。

是ハ、清涼寺ノ方丈ニシテ、海衆ニ為示スルナリ。

シカアレバ、打人ト云ハ、作人トイハンガゴトシ。打作ノユヘニ、人々ハ箇々ノ面目アリ。タトエバ、達磨ノ眼睛ニテ人トヲ作レリト云ク、作レルク。其ノ打人ノ道理、如^レ是。眼睛ニテ打生セル人トナル故ニ、今マ雲堂打人ノ拳頭、法堂打人ノ拄杖、方丈打人ノ竹籠子、即達磨ノ眼睛ナリ。達磨ノ眼睛ヲ袂出テ來リテ泥彈子ニ作りテ打人スルハ、今ノ人、コレヲ參請・請益、朝上・朝參、打坐功夫トラ云フナリ。諸人者道ヘ、打^ス着什麼人。

海枯徹^ス通底^ス、波浪拍天高、是什人ノ境界ゾ。

先師古仏上堂、讚歎如來成道云、六年落草野狐精、跳出渾身是葛藤、打失眼睛無^レ処^レ覓^ル、誑人剛道悟^ト明星^ニ。

ソノ明星ニ悟ト云ハ、打^ス失^ス眼睛^ヲ正當恁麼ノ時ノ旁^マ觀人ノ話ナリトハ、仏ノ眼睛打失ノ時ヲ、傍人ノ讚語ヘ、是渾身ノ葛藤ク。故ニ、容易ニ跳出ノ出山ス。無^レ処^レ覓^ル、打失ノ現成ヲモ覓^ルニ無^レ処^レ、未現成ニモ覓^ルニ無^レ処^レナリ。ナニヲカ成道ト云ンヤ。

先師古仏上堂、云、瞿曇打失眼睛時、雪裡梅花只一枝、而今列^レ成荊棘^ニ、却笑春風繚乱吹^フ。

且道スラクハ、瞿曇ノ眼睛ハ、只一ニ三ノミニアラズ。イマ打失スル、イツレノ眼睛ナリトカセン。打失ノ眼睛、稱スル眼睛ノアルナラン。更ニ、如^レ是ナル中^カニ、雪裡梅花只一枝ナル眼

睛アリ。春ニ先立テ、春意ヲ漏泄スルク。

先師古仏、上堂云、霖霖大雨……ミナカケ。

イワクノ金剛眼睛ハ、霖霖大雨ク、豁達タル大晴ナリ。蝦蟆啼キ、蚯蚓鳴ナリ。不^レ曾過去^ニ故^ニ、シカモマタ古仏ナリ。三世不可得ク。タトイ過去スト云トモ、不古仏ノ過去ニ一齊ナルベカラズ、キコヘタ。

先師古仏、上堂云、日南長至、眼睛裡放光、鼻孔裡出氣、還知向上事麼、飽飯快活厨一堆、超^ス過瞿曇親授記^ヲ。

而今綿々ナル一陽三陽、日月長至、連底脱落ナリ。是則眼睛裡ノ放光ナリ、日裡看山ナリ。一点瑕翳ナシ。日裡看山ハ、雲門、西來意ノ答ク。這裡ノ消息、如^レ是。人々目ヲ拭テ見ヨ。

先師古仏、因臨安府淨慈寺ニシテ、上堂云、今朝二月初一、拂子眼睛凸出ス、明似鏡、黑如漆、驀然蹠跳、吞^ク却乾坤^ニ、一色^ヲ衲僧門下、猶是撞牆撞壁、畢竟如何、尽情拈却笑呵^ク、一^ニ任春風^ニ没^シ奈^レ何^ニ。

イマイフ撞牆撞壁ハ、渾牆渾撞ナリ、渾壁撞ナリ。回避^ク処ナシ。然モ這ノ眼睛アリ。イカントナレバ、今朝及ビ二月、共^ニ初一^ニ條^ニノ眼睛ナリ。所謂^ル弘子ノ眼睛ナリ。餘^レ処^レ見ルナ。驀然^ト蹠跳スル故^ニ、今朝ハ、今朝ナリ。吞却乾坤、兇ク千萬箇スル故^ニ、二月ハ、二月ナリ。尽^シ情拈却^ク時、初一ハ、初一、別ノ日月ナシ。眼睛ノ現成活計、如^レ是。全無他事。

龍吟

舒州投子山慈濟大同大師、因僧問、枯木裏還有竜吟也無。師曰、我道髑髏裡有師子吼。

枯木死灰ノ談ハ、元ヨリ外道ノ所教ナリ。シカアレハ、外道ノ云処ノ枯木ト、仏祖云処ノ枯木トハ、ハルカニ特トナルベシ。此云外道ハ、二乗ノ類ヲモ外道ト云ゾ。外道ハ、枯木ヲ談ズトイヘハ、枯木ヲ不知、況ヤ、龍吟ヲ閉ンヤ。外道ハ、枯木ハ朽木ナラントヲモヘリ。不可逢春ト学セリ。仏祖道ノ枯木ハ、海枯ノ參学ナリ。海枯ハ、木枯ナリ、木枯ハ逢春ナリ。木ノ不動著ハ、枯ナリ。心ハ不レ動云ハ、松ハ、松栢ハ栢ニシテ、不レ動ヲ云。故ニ下ニ云、今ノ山木、海木、空木等、是レミナ枯木ナリ、萌芽モ枯木龍吟ナリ。百千万圍トアルモ、枯木ノ児孫ナリ。是什麼ノ枯木ゾ。枯ノ相・性・体・力ハ、仏祖道ノ枯椿ナリ。非枯椿ナリ。枯椿、非枯椿ハ、蹠山ノ語、法身与ニ法身上事ノ答也。山谷木アリ、田里木アリ、山谷木、世ノ中ニ松柏ト称ス。田里木、世ノ中ニ人天ト称ス。此枯木ノ依根葉分布ス。是ヲ仏祖ト称ス。本末須皈宗、即チ衲僧ノ參学ナリ。如是ナル枯木ノ長法身、枯木ノ短法身ナリ。若シ枯木ニアラザレバ、イマダ龍吟セズ、イマダ枯木ニアラザレバ、龍吟ヲ打失セズ。幾度逢春不変心ハ、渾枯ノ龍吟也。此句ハ、傳灯ノ七ノ十二ヲ、大梅ノ偈ノ句ク。打失ト不変ト、心ヲ著ヨ。此龍吟ハ、宮商角徵羽ニ不群ナリトイ

ヘハ、宮商角徵羽ハ、龍吟ノ前後二三子ナリ。一三子ト云ハ、子ハ、嗣也、息也。孳々無レ已也ノ意ゾ。

シカアルニ、這僧道ノ枯木裡還有龍吟也無ハ、無量劫ノ中ニ始メテ問処ニ現成セリ。話頭ノ現成ナリト贊シ玉フ。

投子道我ハ道髑髏裡ニ有師子吼ハ有什麼ノ掩処、スベテ掩覆シヲヒ、カクナイ髑髏裡ノ師子吼ゾ屈レ己推レ人。也不レ休ゴトクナレハ、惜カナ、髑髏遍レ野生キ死レ人ノミジヤトク。人々髑髏裡師子吼アルヲ知レトク。

香巖龔灯大師因……閉者皆喪ス。ミナカケ。

今マ擬道スル閉ク者、吟者ハ、吟龍ノ吟者不レ齊ナリ。今マ、コノ曲調ハ、龍吟ナリ。鼻口ノ曲調ニハアラヌク。

枯木裡髑髏裡、是内外ニアラズ、自他ニアラズ。而今モ而古モナリ。猶帶毳在ハ、更ニ頭角生ナリ。枯木ノ龍吟猶帶ルアレバ、却テ頭角ヲ生ズベシ。猶帶識在ハ、髑髏裡ノ眼睛、皮膚ハ、脱落尽ストイヘハ、猶識ノアルアリ。

曹山曰、血脉不断ハ、道不レ諱、此語脉裡轉身ナリ。枯木龍吟、真ノ見道ノ処ゾ。髑髏ノ眼睛、猶不レ尽ハ、海枯不尽底ナリ。コノ不レ尽是乾ナル故ニ、乾上又乾ナリ。閉者アリヤト道着セルハ、閉ヲ不レ得者アリヤ、ト云フガ如シ。

石霜ト曹山ノ家風表裡スルヲ知レ。石霜ハ、枯木龍吟モ猶帶毳在、髑髏裡眼睛モ猶帶識在ト十成ヲ諱ム。曹山ハ、枯木龍吟ノ時、スナワチ血脉不断ノ長処アリ。髑髏裡眼睛乾不尽、勿死

却是則道取不^{マヤ}。ナリ。然故^ニ頌^ニ曰、枯木龍吟真見道、
髑髏無識眼始明^{ナリ}。眼睛篇^ニ、所謂億百万劫、我本行^ノ、苜道^ノ參
学^ヲ團圓ナラシムル、八万四千^ノ、瞎眼睛^ノ明白ナルナリ。如
是^ニ岳識^ニ尽^ニ時、一切^ノ仏法^ノ邊^ノ消息^ヲ、ヲトツレ^レ尽^ク。正当^ニ恁^ニ麼^ノ、
時^ニ至^テ、当^レ人^何辨、濁中^ノ清、清濁[・]邪正、一切^無二、何^ン
ノ辨取^{アラ}ンヤ。当^レ人^ト云^ハ、何^誰ゾ。諸^人者^識者^ニハアラ
ズヤ。是以、兩^師ノ表^裡ヲ參^究スベシ。會^元六^ノ九^峯ノ虔^章ニ出[。]
休^去歇^去、冷^湫ニ地^去、一^念万^年去、寒^灰枯^木去、古^廟香^炉
去、一^條白^練去、今^石霜^七去^ト云。是^今時^尽却^底ノ功^勳ヲ表^示
ス。曹^山辞^洞山^一、山^問、什^麼処^去。師^云、不^變吳^一、処^去。
洞^山云、不^變吳[、]豈^有レ^去耶。師^云、去^亦不^變吳^{。遂}辞^去。
隨^緣放^曠、是^則那^邊ヲ退^得ノ這^裡ニ行^履スルヲ以^レ表^示ス。如^レ
是^ニ二^師ノ行^履、表^裡スルヲ、可^知ノミ。
尽^大地^未有^レ二^一个^不閤^モ。更^ニ問^著スベシ。未^有一^个不^閤ハ且
置^ク、未^有尽^大地^時、龍^吟在^甚麼^處、連^道ニナ^リ。未^審龍
吟^是何^章句^ト為^問スベシ。吟^龍ハ、已^レツ^{カラ}泥^裡ノ作^レ声^ヲ拈^ナ
ナリ。鼻^孔裡^ノ出^氣ナリ。
也^不知^ニ是^何章^句ハ、章^句裡^有龍^也。
閤^者皆^喪ハ、可^惜許^也。イ^マ香^巖、石^霜、曹^山等^ノ竜^吟來、
雲^ヲ為^シ、水^ヲナ^ス。不^レ道^道不^道トハ、此^公案^ノ初^問ハ、如
何^是道^ト問^{フニ}、諸^尊宿^イツ^レモ不^レ道^道、不^レ道^ニ眼^睛髑^髏一。
只是^龍吟^ノ千^曲万^曲ナリ。猶^帶岳^在也^蝦蟆^啼、猶^帶識^在也^蚯

蚓鳴、是^レ依^リテ血^脉不^斷相^統ナリ、胡^芦嗣^胡芦^{ナリ}。乾^不
尽^ノ故^ニ、露^柱懷^胎生^ニ、沉^死セザ^ル。其^所以^イカ^ン。灯
籠^對灯^籠、此^ノ何^ヲカ^對談^ス。閤^ケ。

△『龍吟』卷了△

陀羅尼 五十二

參学眼アキラカナルハ、正法眼明カナリ。正法眼明カナル故ニ參学眼明カナルヲ得ルナリ。

今時ノ学人、參学眼ヲ明カニスルヲアタハザルハ、求道ノ志ナキ故ナリ。吾門ニテハ、大刹大寺ニ住持スルヲバ、皆是知識ト覺ヘタル故ニ、無眼子ノ長老ヲモ辨ゼズ、掛錫シ、近代ハ、瑩山清規ト云紛カシ仕事ヲ仏法ト思ヒ、住持ノ長老ハ学者ニ飯食ノモテナシ厚クシテ、ソレニテ知識ヲ立テ、師家ニ正法眼ナケレバ、学者モ參眼之眼ナク、互ニ盲者ノ聚會、近年ハ其ノ派流ノノヲ立、在俗愚人ノ偏黨ノ如クシテ、宗門ノ正法、イヨク破敗ス。此篇ヲ熟覽シ、学人モ行脚參禪ノ要ヲ知レ。師家タル人モ正眼ナキヲ自ラ可耻。只近年ハ、名閑ノ彫僞ノミ繁奥ノ都テ實儀ナシ。今は何麼ノ時節ゾヤ。此參学眼、正法眼ヲ得ル閑振正傳スルコト、必然トソ大善知識ニ奉覲スル力ナリ。法花ニ所謂、是得道ノ大因縁ナリ。是大陀羅尼ナリ。所謂大善知識ハ、仏祖ナリ。必巾瓶ニ勤恪スベシ。仏祖ト云ヘバ、面目ノ別ナル様ニ思フ。是愚ナリ。真正ノ見解アル人、是仏祖ナリ。盍シ、真正見解ト云ハ、ナンゾ。目ハ横ニ、鼻ノ孔ノ直ナ人ノ。今時彫僞ノ長老ヲ云ニハアラス、悲哉。今名閑利養ナキ底ノ人、一斗半斗モナシ。依思フ、黄檗ノ歎言語。

シカアレバ即擎茶來ル。龍潭ノ、天皇ニ侍スル如キ、心要現成セ

リ。點茶シ來ル、仰山ノ、瀉山ニ奉覲スル如キ、神通現成セリ。擎茶ノハ、傳灯十四ノ十七ウ、龍潭ノ傳ニアリ。點茶、盥水ノハ、傳灯九ノ八ヲニ、瀉山ノ傳ニアリ。

不動着境ナリトハ、類聚ノ四ノ餅錫ノ部ニ、南泉見鄧隱峯來、指淨餅云、淨餅是境、餅中有水。你不レ得動著、与レ我將水來、峯將淨餅、傾水於師面前。師便休去。皈宗云、鄧隱峯也是乱沔。黃龍心云、信知、道急行不レ至、緩行太過。南泉亦好、話端、要且不レ能圓就。既是能吹、須能拍。若不、能拍、吹者徒勞。甚処是隱峰乱沔、処、具參学眼、誠点檢看、ト云因縁ゾ。

鼓山珪頌、南泉不レ指淨餅、隱峯何曾沔水。從教打レ瓦鑽龜。仏法不レ在、這裡。

下面了知ナリトハ、禪蒙求ト神通篇初丁ウ、アリ、可見。上件ノ因縁ノゴトク、点茶・擎茶、巾餅(瓶)、勤恪、即是仏祖ノ心要、參学眼、正法眼ノ直示ナリ。今時ノ学人ハ、線香ノ夜番ヲ勤メ子バ、參学ト云ズ、思ズ、飯食ノ豊饒ヲ仏法ノ繁昌ト云、浅間布カナ。元古仏ノ正法眼藏ヲ能ク拜覽セヨ。坐禪ノモ、坐禪ノ篇ニ具ニ示誨アル。老僧、為人苦々辨注セシゾ。今、叢林ハ、北国ニノミアリ、ト一説ニ思ヘル、片腹痛イ。此比閑クニ、一夜碧岩ニ、毎度祈祷、懺法ヲ執行スト云。サテノ笑フニモ口ナシ。碧岩ノ、風引又為メノ祈祷カ。蠹クワ又為メノ祈祷カ。不知、什麼ノ為メノ祈祷ナルヤ。這般ノアリサマナル

ヲ大叢林ト云ルハ、目ナシドチノヨリアツマリ、是ヲ妙音講ト云ニテアルベシ。

其般ノ境界ニシテ、シカモ貢高我慢ニ又種々ノ名閔ノ彫偽作り、一生ノ手譜トテ、アラヌ共ヲ書キ出シテ、仏陀ノ照覽ヲ不レ耻。心底、此人イカント名クベケン。其所レ名シラザルナリ。学者、靜ニ思イ、坐看究理セヨカシ。雖然如是、一度此ノ野狐ノ涎味ヲナメテハ、共ニ其窟ヲ出得ヌ、苦クシイカナ。今此篇ニ示シ玉如ク、是仏祖ノ心要ヲ參学スルノミニアラズ。心要裡ノ一兩位ノ仏祖ニ相逢ス。マタ仏祖ノ神通ヲ受用スルノミニアラズ。神通裡ノ七八員ノ仏祖ヲ得タルナリ。一兩位、七八員ト云數ニ用ハアラズ。是禪語ノ模様ノミ。是ニヨリテ、アラユル仏祖ノ神通ハ、此ノ一束、ヒトツ(カ)子ニ究尽セリ。所有仏祖ノ心要ハ、此一拈、ヒトヒ子リニ、究尽セリト、眼ヲ着ヨ。是故ニ、仏祖ヲ奉勤スルニ、天花、天香ヲ以テスル、不是ニハアラザレト、三昧陀罽尼ヲ拈ソ奉勤供養スル、是レ仏祖ノ兒孫ナリ。所謂陀罽尼トハ、寒暖人事、是レナリ。人事ハ、大陀罽尼ナルガ故ニ、人事現成ニ相逢スルナリ。陀罽尼、此云ニ總持ト、這什麼ヲカカ總持スルヤ。

人事ノ言ハ、震旦ノ言音ヲ依摸シ、ヨセノットリテ、世諦ニ流通セル久シトイヘト、梵天ヨリ相傳セズ、西天ヨリ相傳セズ、仏祖ヨリ正傳セリ。声色ノ境界ニアラズ。マタ威音王仏ノ前後、師ト無師トヲ論ズルナカレ。ソノ人事ハ、焼香・礼拝ナリ。

或ハ出家ノ本師、或ハ傳法本師、傳法ノ本師即出家ノ本師ナルモアリ。是等ノ本師ニ必依止奉勤スル、是咨參ノ陀罽尼ナリ。所謂時、ヲ過サズ、參侍スベシ。三宝ハ、辨注ニ不レ及、キコヘタリ。

へ『陀羅尼』卷了

(附記) 本書は、あくまで原文の歴史性を重んじ、學術研究資料として翻刻に当るものである。尚、原本の撮影及び翻刻を御許可頂いた陽松庵・先住加藤良道老師、現董福本高芳老師に対し、甚深なる謝意を表する(編者)。